

# あなたがあなたで あるために

## Ⅶ 写真投稿とデジタルアイデンティティ

### モデルケース 「はい、チーズ！」

写真をとるときにはケータイを使っています。ケータイはいつも持っているので、写真をとりたいときにはいつでもとることができます。失敗してもとり直せばいいし、いらない写真はすぐに消せるので簡単です。お気に入りの写真は、プロフの自己紹介や、グリーやモバゲーの日記にのせて（アップして）友人と一緒に見るようにしています。写真にはコメント（簡単な文章）をつけることもあれば、写真に友人が写っているときには、友人の名前でタグ（その写真にどんなものが写っているのかを表すインターネット上での目印）をつけることもあります。

もちろん、とった写真全部をインターネットで公開するわけにはいきません。ただ、自分がインターネットにあげる写真なら自分でどの写真を公開するか選ぶことができますが、友人がとった写真だと、どの写真がインターネットで公開されるのかは友達しだいです。

### ワークシート Ⅶ

#### 調べてみましょう

他の人がプロフの自己紹介や、グリーやモバゲーなどの日記、ブログやツイッターなどにコメントやタグをつけてアップした写真を探してみましょう。

#### 考えてみましょう

1. あなたが見つけた写真に対して 下の人たちはどのような反応をしたり、コメントをつけたりするでしょうか。

写真をアップした人の友人	
写真をアップした人の親または保護者	

写真をアップした人と同じ年頃の人	
写真をアップした人の先生	

2. 自分だったなら、どのような写真を、どのようなコメントやタグをつけてアップするか、書き出してみましよう。すでにアップしたことがある人は、どのような写真を、どのようなコメントやタグをつけてアップしたか書いてください。

3. 上の質問で書いた自分がタグやコメントをつけてインターネットにアップする（した）写真について、次の人たちがどのように感じるか考えてみましょう。

自分の親友	
自分の両親	
自分と同じ年頃の人	
自分の担任の先生	
自分が大学に入った時に 出会う同級生	
自分が将来の職場で出会う人	